

## 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

### エボラ熱感染防止措置、一部解除(隔離停止)

2015年3月5日付『朝鮮新報』によれば、同月2日付でエボラ出血熱感染を防ぐ目的で実施してきた入国者隔離措置を一部解除した。現在、エボラ出血熱が発生している、シエラレオネ、ギニア、リベリアとこれらの国に隣接した国々から入国した者以外は隔離しないことになり、その代わりとして最大21日間の医学的監視(滞在期間、平壤親善病院と連携し、宿泊ホテルで健康に異常はないか、医師による定期健診を受ける)を受けることになるそうだ。

### 金正恩第1書記の平壤化粧品工場視察

2015年3月19日付『朝鮮新報』によれば、同年2月4日、平壤化粧品工場を現地視察し、国産化粧品の品質向上に関する新たな課題を示した。今回の視察では、第1書記は工場生産する化粧品の質をさらに高めるために、「ランコム、シャネル、クリスチャン・ディオール、資生堂」など世界的有名ブランドの名前を挙げながら、このような外国製化粧品と肩を並べられるよう、平壤化粧品工場生産する化粧品の質を不断に高めなければならないと述べたそうだ。

### 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第13期第3回会議開催

2015年4月9日、平壤の万寿台議事堂で最高人民会議第13期第3回会議が開催された。議題は、「朝鮮民主主義人民共和国内閣の主体103(2014)年の事業状況と主体104(2015)年の課題について」、「朝鮮民主主義人民共和国主体103(2014)年国家予算の執行と主体104(2015)年国家予算に対して」、「組織問題」の3つであった。

朴奉珠内閣総理は、内閣の報告で、「農業戦線を経済戦線と人民生活向上の主打撃方向として社会主義守護戦の前哨

戦として定められた党の意図に合わせて化学肥料と田植機、移動式水稲用脱穀機、農機械部品、燃料油をはじめとした営農物資を計画通り保障した」としつつ、2014年の穀物生産が増加したことに触れた。また、石炭工業部門では対前年比28%増、セメント生産において対前年比12%の生産増加があったことも明らかにした。2015年の課題としては、金正日総書記の遺訓貫徹を生命線として、農産、畜産、水産を三大軸として人民の食の問題を解決し、電力生産を増加させつつ、金属工業の主体化を実現することとした。

2014年の国家予算収入(歳入)は予算比1.6%増となり、対前年比6.0%成長した。地方予算収入は予算比22.2%増となった。国家予算支出(歳出)は予算比0.1%減となり、このうち46.7%が人民経済部門に、37.2%が文化部門に、15.9%が国防費に使われた。

2015年の予算は、「自衛的国防力をより強化し、科学技術を確認として先行させ、社会主義経済強国建設と文明国建設に於いて転換を引き起こしていけるよう」編成されたとの報道があった。

国家予算収入(歳入)は前年比3.7%増(うち取引収入金は2.6%(4.5%)増、国家企業利益金は4.3%(7.9%)増、協同団体利益金は3.2%(4.8%)増、不動産使用料は0.7%(9.5%)増、社会保険料は2.8%(5.1%)増、財産販売および価格偏差収入は1.4%(2.4%)増、その他の収入は0.8%(1.7%)増、経済貿易地帯収入は3.6%(5.1%)増。カッコ内は前年の値)と連続して増加している。国家予算収入のうち、中央予算収入は79%、地方予算収入は21%を占めている。

国家予算支出(歳出)は対前年比5.5%(6.5%)増うち農業4.2%増、水産部門6.8%増、軽工業と重工業をあわせた工業部門5.1%増、基本建設部門8.7%(4.3%)増、山林部門に9.6%増。教育部門6.3%増、保健部門4.1%(2.2%)増、体育部門6.9%(17.1%)増、文化部門6.2%(1.3%)増、いずれもカッコ内は前年の値)となっている。軍事費は前年と同じ国家予算支出の15.9%を占める。

(ERINA調査研究部主任研究員 三村光弘)